

市民活動サポートセンター いなぎ

ニュースレター

No.9

2006.8.15

発行/市民活動サポートセンターいなぎ
運営協議会

事務局/〒206-0802

稲城市東長沼2112-1

稲城市地域振興プラザ1F

市民活動サポートセンター内

電話042-378-2112

FAX042-378-6971

E-mail:info@i-inagi-support.org

http://www.i-inagi-support.org/



▲今回も話し合いを中心に進めます

次回「NPO講座」の ご案内

～はじめよう身近な NPO活動～

- ・とき/10月13日(金)
- ・ところ/地域振興プラザ4F
- ・講師/岸本 幸子氏
(パブリックハウスセンター
事務局長)
- ・参加費/300円
- ・申込み締切り/10月6日

※詳細は広報いなぎ10月1日号
をご覧ください。

市民活動団体

NPO講座

～まちを元気にする コミュニティビジネス～

最近「コミュニティビジネス」という言葉を耳にしませんか。コミュニティビジネスとは何をさすのでしょうか。

身近で具体的な事例をとおしてコミュニティビジネスの考え方、進め方や目指すことをコミュニティビジネス研究の第一人者、望月照彦先生にお話ししていただきます。その後、「自分が出来ること、していること、したいこと」をグループで話し合い、コミュニティビジネスへの関心を持つきっかけづくりにしたいと思います。

自分たちの地域をすみやすく、豊かにしていく市民活動をみんなで一緒に考えてみませんか。

- とき 9月30日(土)
- ところ 稲城市地域振興プラザ4F会議室
- 参加費 300円
- 主催 市民活動サポートセンターいなぎ運営協議会

【当日の日程】

- 13:30～ 講演
講師 望月照彦氏(多摩大学大学院教授)
- 14:30～ グループディスカッションと
望月先生のコメント
- 16:30 終了予定

- 受講を希望される方は9月22日(金)までに下記へ
市民活動サポートセンターいなぎ(市役所協働推進課内)
電話:042-378-2112
FAX:042-378-6971

ハッピーリタイアメント講座の報告

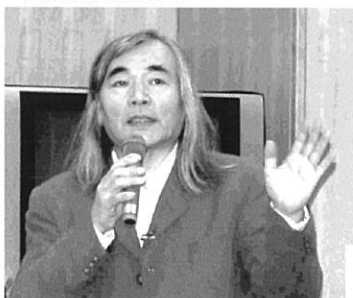
「定年後の 生きがい探し」

(6月18日に実施)

今、団塊世代といわれる大勢の方が定年退職を迎えようとしています。

今回の講座は、リタイア後はさてどうしたものか、地域デビューするにしても情報も少ないし不安がいっぱいという声を受けて開催されました。

▼講師の望月先生



第一部 / 講演

●地域で必要とされる 喜びを・・・

講演は「定年後の生きがい探し」というテーマで多摩大学の望月照彦先生のお話でした。

「これからは、齢をとった人が社会の中心になっていく時代である。会社人間から社会人間となって地域の中で自分の能力

を活かし、必要とされる喜びを味わうことができる」という心強い言葉で始まりました。



各方面で活躍された方々の生き方や考え方を例に出した話の中で、一番興味深かったのは、多摩ニュータウンのまちづくりにリタイア後の人生をかけ、NPO法人を立ち上げた高田一夫さんの活動でした。

先ず取り組んだのは、新しい町の最大の課題である地域住民と新住民の交流を目的とした多摩ニュータウン再生夏祭り「リボンフェスタ・TAMA」でした。



▲望月先生の話に熱心に聞き入る参加者

イベントは高齢者、若者、子どもまでの参加を考えて「スロークライフ・スローテンポ・スロークイック」を合言葉に「おわら風の盆」に決まったそうです。

素人の計画、プロデュースにもかかわらず大勢の人が集まり、また予想を超える沢山のキャンパも集まって大成功を収めました。4年計画で始まったお祭りは予定通り続けられ、その後



▲第二部では様々な交流が・・・

も新しいフェスタが市民の手で創造されているそうです。

お祭りを出会いのきっかけとして、人の輪がどんどん広がって行く過程では、行動力と地域への愛着と熱意が熱く伝わってきました。

第二部 / 交流会

●わがまち 稲城を知ろう

第二部では、「わがまち稲城を知ろう・社会福祉活動・市民活動・公民館活動・楽しく仕事がしたい」という分野毎の活動状況や体験談を聞いたり、個別の質問に答えたりの交流会となりました。

今後もこのような機会を繰り返し設けることで、何かを始めたいと考えている方や戸惑っている方へ「地域へお帰りなさい!」のメッセージを出し続けていきたいと思ひます。(塩川)

四月

デジタルカメラの 上手な撮り方

語り手：石崎幸治さん

稲城市在住のプロカメラマン、石崎幸治さんのお話でした。

前半はご自身の作品を紹介しながら、今までの写真の歴史や撮影に際しての技術的な手法の詳細な説明があり、後半は質問を交えながらデジタルカメラとフィルムカメラとの相違点などについて解説がありました。

機種を選ぶことも大事ですが、一番大切なことは何を撮りたいかということをもっと自分で把握することだそうです。

技術的なことは後からでもついでできます。まず、被写体に愛情をもって、どう撮りたいか、どのように表現したいかということを見つめながら撮影をすることが大切であり、このことさえ押さえれば、良い作品が出来上がるだろうと話してくれました。(秋廣)

六月

花に魅せられて

語り手：齋藤隆夫さん

ホームページにも「花の写真」を投稿してくれている齋藤隆夫さんのお話でした。

様々な種別に応じて花の内部構造についてスライドを見ながら詳しく説明をしてくださいました。

花は厳しい環境の中、それぞれ種を残そうと努力をしています。

普段見慣れた花も陰では必死に生き残ろうとしていることを知り、思わず愛しくなるような気持ちになるとのことでした。

齋藤さんは花の研究をするとき、写真撮影などに非常に苦勞をするとのことですが、決して花を解剖して中身を見ることはしないそうです。

そういって一面からも花に対する愛情が垣間見えます。とても温かみのある話でした。(秋廣)

七月

梨(有りの実)の話

語り手：川島寛さん

様々な分野に精通している川島さんですが、今回は本業の“梨”の話でした。

まず緑色の実が配られ、「これは何？」という質問からスタート、何とジャガイモの実でした。試しかじつてみるとかすかにトマトの味が・・・そんな“種”の不思議は、梨にもあてはまるそうで、減農薬の工夫、棚づくり、品種の改良など、全ては種の特性と無縁ではなかったようです。

何しろ梨はずでに日本書紀にも登場、そんな古い歴史をもつ梨が、なぜこの稲城の地で盛んに栽培されるようになったのか？そんな謎解きが次々と語られ、あっという間に終わりの時間を迎えました。

通りすがりにただ漠然と見ていた梨づくり、その奥深さを再認識させられました。(小林)

※いなぎFFネットワークの活動場所／城山文化センター1F・城山児童館
活動日時／毎週水曜日 午後5時～7時30分

ガンバってます

6



▲青少年コーナーで楽しそうに談笑

設立は2001年、中学生の子どもたちが「ホッとくつろげるような居場所」を作ろうと、稲城第五中学校の保護者有志が中心となり発足しました。当初はボランティア団体として、「青少年コーナーの設置」「教育ボランティアとしての学習支援」「子どもたちが自主的に活動するための支援」の活動が中心でした。それが現在は、会のメイン活動であった「青少年コーナー（中学生の居場所）」が広がって、長峰地域子ども教室実

中高生の 居場所づくり

いなぎFF ネットワーク

代表：廣田雅恵さん

行委員会のもとで文部科学省の補助を受け、名称も「いなぎFF」となり、城山文化センターで活動が続けられています。

ここではスタッフが中高生の話し相手になったり、一緒にゲームや学習・スポーツを行っています。中学1年から高校3年まで様々な年代の子どもたちが安心できる場を共にし、影響しあいながら楽しく過ごし、成長していく姿を見守っていききたいとのことでした。

しかし、問題もあるそうです。例えば、気になる子どもに対し、民間レベルでは踏み込めない場合に遭遇したとき、自分たちの力だけでは限界を感じるスタッフもいるので、行政や学校とのさらに充実したネットワーク作りを望んでいるとのことでした。

筆者がセンターを訪ねたとき、10数人の子どもたちがそれぞれの行動のなかで楽しそうに談笑をされていました。それを見て、このような草の根的な活動が広まり、稲城市全体で子どもたちを見守る体制ができていけば、と感じました。(秋廣)

運営協議会

ほうこく

役員会・全体会

6月12日(月)と7月10日(月)に、午後5時～6時まで役員会を、引き続き全体会を開催し次の事項について協議した。

なお、7月10日は午後6時～7時まで、「特定非営利活動法人市民活動サポートセンターいなぎ」の設立総会を開催し、審議事項について全て承認された。

6月12日

【センター運営に関して】

- ①利用登録申請団体の承認
 - ・ヒップファミリークラブ
 - ・若葉の会
- ②事務局・各分会・NPO法人化準備委員会の報告

【事業企画に関して】

- ①金曜サロンスペシャルについて
- ②ハッピーリタイアメント講座Ⅱについて
- ③子育て応援フェスタ2006について
- ④ニュースレター8号発行について
- ⑤サポートセンター及び男女平等推進センターの図書貸し出しについて

7月10日.....

【センター運営に関して】

- ①サポートバンク登録者1名
- ②事務局・各分会の報告
- ③NPO法人設立総会

【事業企画に関して】

- ①金曜サロンスペシャルについて
- ②金曜サロンの運営について
- ③ハッピーリタイアメント講座Ⅱについて

④市民活動講座について

- ⑤子育て応援フェスタ2006について

金曜サロンスペシャル

- ・9月1日(金) 午後7時～
- ・話し手：石田惇子さん
- ・テーマ：地域をつなぐ食事サービス

これからの事業予定

- NPO講座(1ページ参照)
 - 9/30(土)
 - 10/13(金)
- ^{あい}Iのまちいなぎ市民祭への参加
 - 10/21・22(土・日)
- 子育て応援フェスタ
 - 11/25(土)
- ハッピーリタイアメント講座Ⅱ
 - 12/10(日)

編集後記

家の前に建築中の建物がある。6階建てだが数か月前に工事が始まってまだ5階くらいだろうか。毎日現場を見ている訳ではないが、何となく丁寧に仕事を進めているなと感じている。

はじめの基礎工事の時、深く土を掘り起こし、数日間そのままに放置し、また土を埋め戻した。建築関係の知り合いに聞いたら、あれをやらないと基礎が強くなりないと教えてくれた。

それからコンクリートが流し込まれ、鉄筋が何本も立つようになった。騒動の後だから基準どおりの鉄筋が使われているのだろうか、などと関心を持つようになった。そのうちに外側にカバーがかけられて見えなくなった。

◆ サポートセンターは2年目に入り、34の団体が利用登録している。既に2つの事業が終了した。次回講座の実行委員会もスタートした。

◆ 当センターは基盤づくりに時間をかけたが、更に一歩ずつ着実に進むことが大切なのではないだろうか。(稲垣)